

該当する欄に○印を記入してください。

3	法定	自主
	○	

様式第二号の九(第八条の四の六関係)

(第1面)

産業廃棄物処理計画実施状況報告書

令和5年6月7日

相模原市長 殿

提出者

住 所

〒108-8502 東京都港区港南2-15-2 品川インターナショナルビルB棟

氏 名

株式会社大林組 東京本店 代表取締役副社長執行役員 東京本店長 笹川 淳

(法人にあっては、名称及び代表者の氏名)

電話番号 03-5769-1390

廃棄物の処理及び清掃に関する法律第12条第10項の規定に基づき、令和4年度の産業廃棄物処理計画の実施状況を報告します。

事 業 場 の 名 称	株式会社大林組 東京本店	自 管 理 番 号
事 業 場 の 所 在 地	東京都港区港南2-15-2 品川インターナショナルビルB棟(相模原市内各事業場分)	TEL(連絡先) : 03-5769-1390

当該事業場に関する事項

① 事業の種類	D-建設業	(具体的には)	総合工事業
② 事業の規模	製造業	製造品出荷額	百万円／年
	建設業	エリア内元請完成工事高	1,296 百万円／年
※ 前年度実績を記入、医療機関は前年度末時点の病床数を記入。	医療機関	病床数	床
	その他の業種	売上高	百万円／年
(上記項目に該当しない場合にはこちらに記載をしてください。)			
③ 従業員数	4名(令和5年3月現在)		
産業廃棄物処理計画における計画期間	令和4年4月1日～令和5年3月31日(1年間)		

産業廃棄物処理計画における目標値

項目	目標値	項目	目標値
排出量	2,400.0 t	全処理委託量	2,400.0 t
自ら再生利用を行う産業廃棄物の量	0 t	優良認定処理業者への処理委託量	210.0 t
自ら熱回収を行う産業廃棄物の量	0 t	再生利用業者への処理委託量	2,400.0 t
自ら中間処理により減量する産業廃棄物の量	0 t	認定熱回収業者への処理委託量	0 t
自ら埋立処分又は海洋投入処分を行う産業廃棄物の量	0 t	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0 t
※ 事務処理欄			

備考

- 1 当該年度(令和5年度)の6月30日までに提出してください。
- 2 「当該事業場において現に行っている事業に関する事項」の欄は、以下に従って記入してください。
 - (1) ①欄には、日本標準産業分類(中分類)の区分を記入してください。
 - (2) ②欄には、製造業の場合における製造品出荷額(前年度実績)、建設業の場合における元請完成工事高(前年度実績)、医療機関の場合における病床数(前年度末時点)等の業種に応じ事業規模が分かるような前年度の実績を記入してください。
- 3 「産業廃棄物処理計画における目標値」の欄には、前年度(令和4年度)提出の産業廃棄物処理計画に記載した目標量を記入してください。
- 4 第2面(様式3-2)には、前年度(令和4年度)の産業廃棄物処理実績に関して①～⑭の欄のそれぞれに、(1)から(14)に掲げる量を記入してください。
 - (1) ①欄 当該事業場において生じた産業廃棄物の量
 - (2) ②欄 (1)の量のうち、中間処理をせず直接自ら再生利用した量
 - (3) ③欄 (1)の量のうち、中間処理をせず直接自ら埋立処分した量又は海洋投入処分した量
 - (4) ④欄 (1)の量のうち、自ら中間処理をした産業廃棄物の当該中間処理前の量
 - (5) ⑤欄 (4)の量のうち、熱回収を行った量
 - (6) ⑥欄 自ら中間処理をした後の量
 - (7) ⑦欄 (4)の量から(6)の量を差し引いた量
 - (8) ⑧欄 (6)の量のうち、自ら利用し、又は他人に売却した量
 - (9) ⑨欄 (6)の量のうち、自ら埋立処分及び海洋投入処分した量
 - (10) ⑩欄 中間処理及び最終処分を委託した量
 - (11) ⑪欄 (10)の量のうち、優良認定処理業者(廃棄物の処理及び清掃に関する法律施行令第6条の11第2号に該当する者)への処理委託量
 - (12) ⑫欄 (10)の量のうち、処理業者への再生利用委託量
 - (13) ⑬欄 (10)の量のうち、認定熱回収施設設置者(廃棄物の処理及び清掃に関する法律第15条の3の3第1項の認定を受けた者)である処理業者への焼却処理委託量
 - (14) ⑭欄 (10)の量のうち、認定熱回収施設設置者以外の熱回収を行っている処理業者への焼却処理委託量
- 5 第2面(様式3-2)の左下の表には、項目ごとに、産業廃棄物処理計画に記載したそれぞれの実績値を記入してください。
- 6 第1面の※欄には、何も記入しないでください。

別紙処理フロー

令和4年度に発生した産業廃棄物ごとの量と処理計画の実施結果

フローに記載した産業廃棄物の種類ごとに1枚の記載となります。異なる廃棄物の処理フローは別シートに記載してください。

(単位:t/年)

有価物量

不要物発生量

ア. 燃え残

※ 本用紙は廃棄物の種類ごとに1枚の記載となります。異なる廃棄物の処理フローは別シートに記載してください。

(単位:t/年)

自社の他事業場からの搬入量

① 当該事業場における排出量

0.0 t

t

※1 自社の他事業場からの搬入量

t

自ら直接再生利用した量

t

自ら直接埋立処分又は海洋投入処分した量

t

t

自ら中間処理した量

t

自ら中間処理した後の中間処理

t

自ら中間処理により減量した量

t

自社の他事業場での処理量

t

自ら直接再生利用を行った量

t

自ら直接埋立処分又は海洋投入処分を行った量

t

自ら中間処理を行った量

t

自ら中間処理により減量した量

t

自ら直接再生利用を行った量

t

自ら直接埋立処分又は海洋投入処分を行った量

t

自ら中間処理を行った量

t

自ら直接再生利用を行った量

t

事業場名称 : 株式会社大林組 東京本店

3-2 法定 ○ 自主

a 残さ物の自己処理

⑧ 自ら中間処理した後再生利用した量

t

⑨ 自ら中間処理した後自ら埋立処分又は海洋投入処分した量

t

※3 自ら中間処理した後自社の他事業場での処理量

t

(目的別内訳)

再生利用前委託量

最終処分前委託量

下水等放流前委託量

b-1 中間処理委託量

b-2 最終処分委託量

(目的別内訳)

再生利用前委託量

最終処分前委託量

下水等放流前委託量

b-3 直接及び自ら中間処理した後の処理委託量

t

⑩ 他のうち再生利用業者への処理委託量

0.0 t

⑪ 他のうち認定処理業者への処理委託量

t

⑫ 他のうち認定熱回収業者への処理委託量

t

⑬ 他のうち認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量

t

【産業廃棄物の種類(アート)】

ア. 燃え残

イ. 汚泥

ウ. 廉油

エ. 廉油

オ. 塩アルカリ

カ. 廉フラスチック類

キ. 紙くず

ク. 木くず

ケ. 細繊くず

コ. 動植物性残さ

サ. 動植物表面形不整物

シ. 動植物固体

ス. 金属くず

セ. ガラス・コンクリート・陶磁器くず

タ. 錆さ

ガ. がれき類

チ. 動物のふん尿

リ. 動植物液体

ヲ. ばいじん

ト. 混合廃棄物その他

注)右上のフローには、令和4年度の実績値を記載してください。下表の中先列には、令和4年度目標値を記載してください。下表の右列は、右上フローに記載された令和4年度実績値が自動的に計算されます。

項目	令和4年度目標値	令和4年度実績値
① 排出量	0.0 t	0.0 t
②+⑧: 自ら再生利用を行った量	0.0 t	0.0 t
⑤: 自ら熱回収を行った量	0.0 t	0.0 t
⑦: 自ら中間処理により減量した量	0.0 t	0.0 t
⑨+⑩: 自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.0 t	0.0 t
⑩: 全処理委託量	0.0 t	0.0 t
⑪: 俊食認定処理業者への処理委託量	0.0 t	0.0 t
⑫: 再生利用業者への処理委託量	0.0 t	0.0 t
⑬: 認定熱回収業者への処理委託量	0.0 t	0.0 t
⑭: 認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0 t	0.0 t

(単位:t)

別紙処理フロー

令和4年度に発生した産業廃棄物ごとの量と処理計画の実施結果

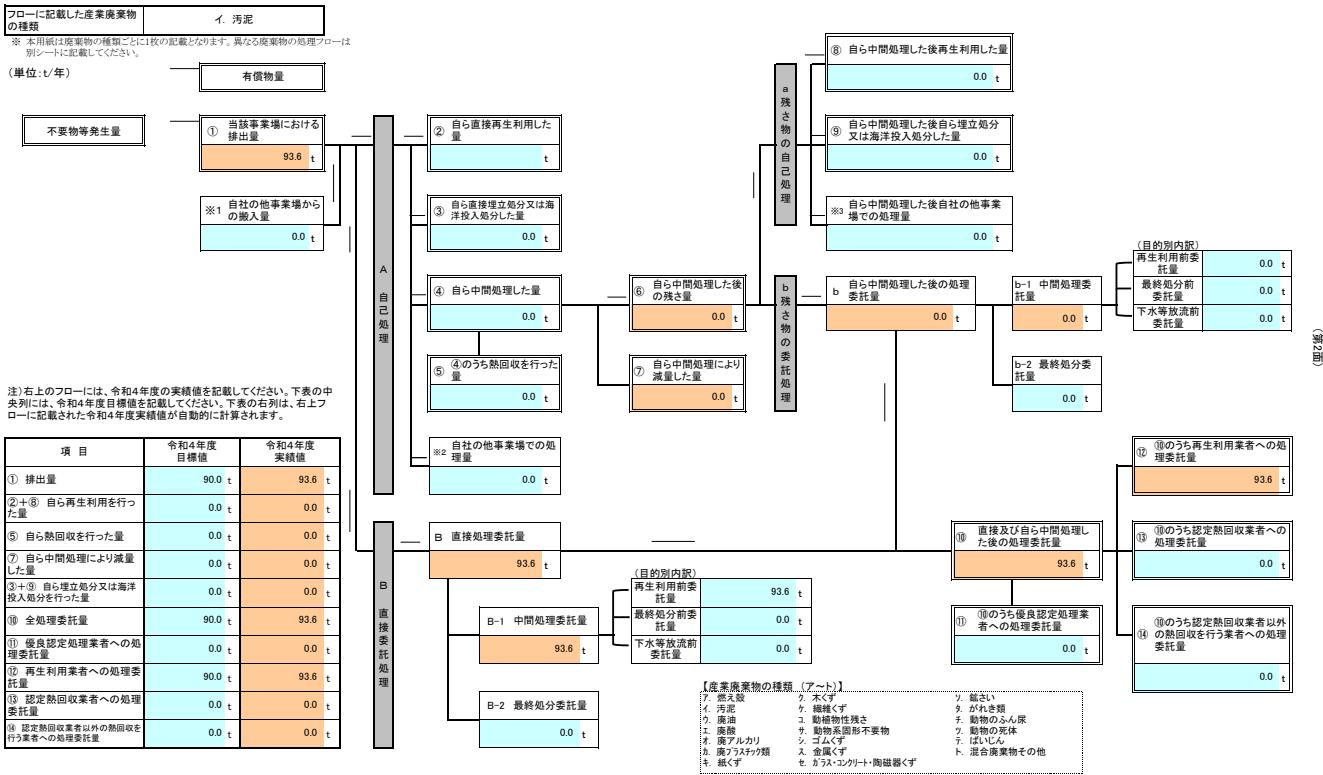
フローに記載した産業廃棄物の種類	イ 汚泥
※ 本用紙は廃棄物の種類ごとに1枚の記載となります。異なる廃棄物の処理フローは別シートに記載してください。	

(単位:t/年)



注)右上のフローには、令和4年度の実績値を記載してください。下表の中矢列には、令和4年度目標値を記載してください。下表の右列は、右上フローに記載された令和4年度実績値が自動的に計算されます。

項目	令和4年度 目標値	令和4年度 実績値
① 排出量	90.0 t	93.6 t
②+⑧: 自ら再生利用を行った量	0.0 t	0.0 t
⑤: 自ら熱回収を行った量	0.0 t	0.0 t
⑦: 自ら中間処理により減量した量	0.0 t	0.0 t
⑨+⑩: 自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.0 t	0.0 t
⑪: 全処理委託量	90.0 t	93.6 t
⑫: 他のうら認定処理業者への処理委託量	0.0 t	0.0 t
⑬: 再生利用業者への処理委託量	90.0 t	93.6 t
⑭: 認定熱回収業者への処理委託量	0.0 t	0.0 t
⑮: 認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0 t	0.0 t



事業場名称 : 株式会社大林組 東京本店

(注)右上のフローには、令和4年度の実績値を記載してください。下表の中矢列には、令和4年度目標値を記載してください。下表の右列は、右上フローに記載された令和4年度実績値が自動的に計算されます。

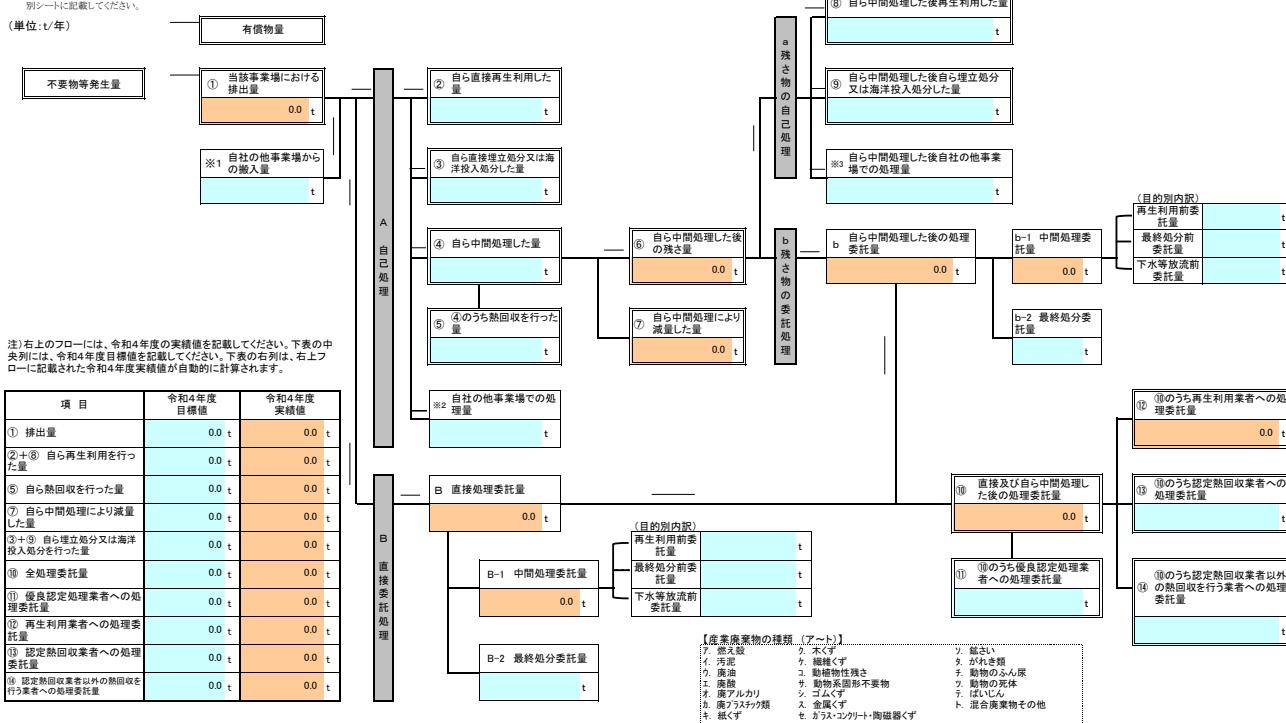
【産業廃棄物の種類（アート）】	
ア. 燃え残り	ウ. 不可燃
イ. 汚泥	ケ. 細維くず
ウ. 廃油	コ. 動植物性残さ
エ. 廃液	サ. 動植物表面形不整物
オ. 廃アルカリ	シ. 有機物液体
カ. 廃アスベスト	ス. はいんじゆ
キ. 廃プラスチック類	ト. 混合廃棄物その他
キ. 紙くず	セ. ガラス・コンクリート・陶磁器くず

別紙処理フロー

令和4年度に発生した産業廃棄物ごとの量と処理計画の実施結果

フローに記載した産業廃棄物の種類ごとに1枚の記載となります。異なる廃棄物の処理フローは別シートに記載してください。

(単位:t/年)



別紙処理フロー

令和4年度に発生した産業廃棄物ごとの量と処理計画の実施結果

フローに記載した産業廃棄物の種類ごとに1枚の記載となります。異なる廃棄物の処理フローは別シートに記載してください。

(単位:t/年)

有価物量

不要物発生量

工 廃酸

※ 本用紙は廃棄物の種類ごとに1枚の記載となります。異なる廃棄物の処理フローは別シートに記載してください。

(単位:t/年)

① 当該事業場における排出量

0.0 t

※1 自社の他事業場からの搬入量

t

② 自ら直接再生利用した量

t

③ 自ら直接埋立処分又は海洋投入処分した量

t

④ 自ら中間処理した量

t

⑤ ④のうち熱回収を行った量

t

⑥ 自ら中間処理した後の残さ量

0.0 t

⑦ 自ら中間処理により減量した量

0.0 t

※2 自社の他事業場での処理量

t

※3 自ら中間処理した後自社の他事業場での処理量

t

A 自己処理

B 直接委託処理

事業場名称 : 株式会社大林組 東京本店

⑧ 自ら中間処理した後再生利用した量

t

⑨ 自ら中間処理した後自ら埋立処分又は海洋投入処分した量

t

※3 自ら中間処理した後自社の他事業場での処理量

t

b 残さ物の自己処理

b 残さ物の委託処理

(目的別内訳) 再生利用前委託量 最終処分前委託量 下水等放流前委託量

b-1 中間処理委託量

b-2 最終処分委託量

⑩ ⑪ ⑫ ⑬ ⑭ ⑮ ⑯ ⑰ ⑱ ⑲ ⑳

⑭ ⑮ ⑯ ⑰ ⑱ ⑲ ⑳

⑭ ⑮ ⑯ ⑰ ⑱ ⑲ ⑳

⑭ ⑮ ⑯ ⑰ ⑱ ⑲ ⑳

⑭ ⑮ ⑯ ⑰ ⑱ ⑲ ⑳

⑭ ⑮ ⑯ ⑰ ⑱ ⑲ ⑳

⑭ ⑮ ⑯ ⑰ ⑱ ⑲ ⑳

⑭ ⑮ ⑯ ⑰ ⑱ ⑲ ⑳

⑭ ⑮ ⑯ ⑰ ⑱ ⑲ ⑳

⑭ ⑮ ⑯ ⑰ ⑱ ⑲ ⑳

⑭ ⑮ ⑯ ⑰ ⑱ ⑲ ⑳

⑭ ⑮ ⑯ ⑰ ⑱ ⑲ ⑳

⑭ ⑮ ⑯ ⑰ ⑱ ⑲ ⑳

注)右上のフローには、令和4年度の実績値を記載してください。下表の中矢列には、令和4年度目標値を記載してください。下表の右列は、右上フローに記載された令和4年度実績値が自動的に計算されます。

項目	令和4年度目標値	令和4年度実績値
① 排出量	0.0 t	0.0 t
②+⑧: 自ら再生利用を行った量	0.0 t	0.0 t
⑤: 自ら熱回収を行った量	0.0 t	0.0 t
⑦: 自ら中間処理により減量した量	0.0 t	0.0 t
⑨+⑩: 自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.0 t	0.0 t
⑩: 全処理委託量	0.0 t	0.0 t
⑪: 便員認定処理業者への処理委託量	0.0 t	0.0 t
⑫: 再生利用業者への処理委託量	0.0 t	0.0 t
⑬: 認定熱回収業者への処理委託量	0.0 t	0.0 t
⑭: 認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0 t	0.0 t

【産業廃棄物の種類(アート)】

ア.燃え物 ク.木くず シ.繊維くず

イ.汚泥 ウ.廃油 エ.動植物性残さ

ウ.廃液 オ.動物糞尿形不溶物

エ.廃アルカリ ソ.動物糞尿形液体

カ.廃アルカリ シ.粉体

カ.廃フタバ類 エ.金属くず

キ.紙くず ゼ.ガラス・コンクリート・陶磁器くず

ソ.錆さい

タ.がれき類

チ.動物のふん尿

リ.粉体

フ.ばいじん

ト.混合廃棄物その他

別紙処理フロー

令和4年度に発生した産業廃棄物ごとの量と処理計画の実施結果

フローに記載した産業廃棄物
の種類 オ、廃アルカリ

※ 本用紙は廃棄物の種類ごとに1枚の記載となります。異なる廃棄物の処理フローは別シートに記載してください。

(単位:t/年)

有価物量

不要物発生量

① 当該事業場における
排出量 0.0 t※1 自社の他事業場から
の搬入量 t② 自ら直接再生利用した
量 t③ 自ら直接埋立処分又は海
洋投入処分した量 t

④ 自ら中間処理した量 t

⑤ ④のうち熱回収を行った
量 t※2 自社の他事業場での処
理量 t⑥ 自ら中間処理した後
の残さ量 0.0 t⑦ 自ら中間処理により
減量した量 0.0 t※3 自ら中間処理した後自
社の他事業場での処理量 t

⑧ 自ら中間処理した後再生利用した量 t

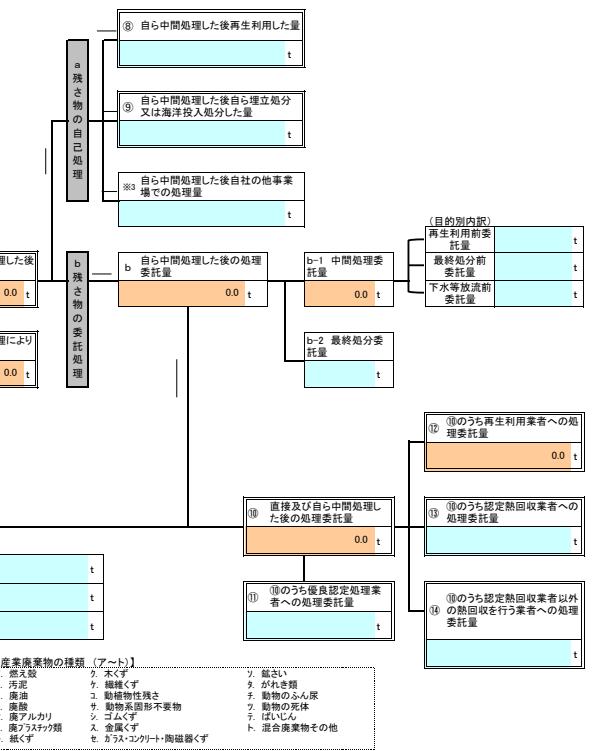
⑨ 自ら中間処理した後自ら埋立処分
又は海洋投入処分した量 t⑩ 自ら中間処理した後
の処理量 t⑪ ⑩のうち認定処理業者への処
理委託量 t⑫ ⑩のうち再生利用業者への処
理委託量 t⑬ ⑩のうち認定熱回収業者への処
理委託量 t⑭ ⑩のうち認定熱回収業者以外
の熱回収を行う業者への処
理委託量 t

注)右上のフローには、令和4年度の実績値を記載してください。下表の中
央列には、令和4年度目標値を記載してください。下表の右列は、右上フ
ローに記載された令和4年度実績値が自動的に計算されます。

項目	令和4年度 目標値	令和4年度 実績値
① 排出量	0.0 t	0.0 t
②+⑧: 自ら再生利用を行つ た量	0.0 t	0.0 t
⑤: 自ら熱回収を行つた量	0.0 t	0.0 t
⑦: 自ら中間処理により減量 した量	0.0 t	0.0 t
⑨+⑩: 自ら埋立処分又は海洋 投入処分を行つた量	0.0 t	0.0 t
⑪: 全処理委託量	0.0 t	0.0 t
⑫: ⑪のうち認定処理業者への処 理委託量	0.0 t	0.0 t
⑬: ⑪のうち再生利用業者への処 理委託量	0.0 t	0.0 t
⑭: ⑪のうち認定熱回収業者への処 理委託量	0.0 t	0.0 t
⑮: ⑪のうち認定熱回収業者以外 の熱回収を行う業者への処 理委託量	0.0 t	0.0 t

事業場名称 : 株式会社大林組 東京本店

(部)第



産業廃棄物処理計画実施状況報告書

3-2 法定 ○ 自主

別紙処理フロー

令和4年度に発生した産業廃棄物ごとの量と処理計画の実施結果

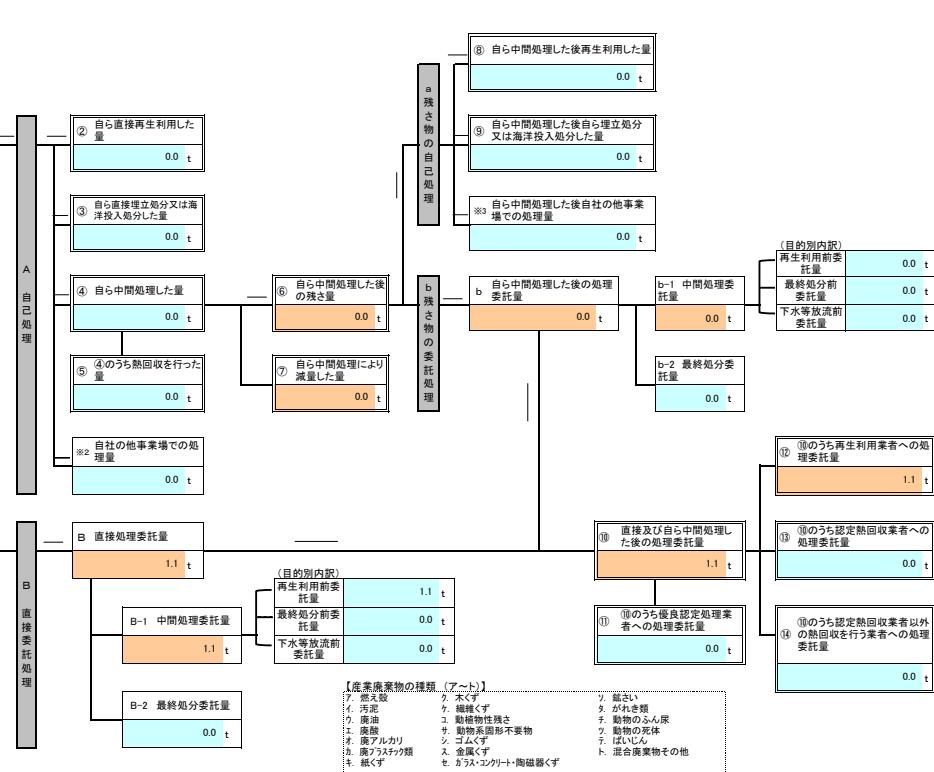
フローに記載した産業廃棄物 の種類	カ. 廃プラスチック類
※ 本用紙は廃棄物の種類ごとに1枚の記載となります。異なる廃棄物の処理フローは別シートに記載してください。	

(単位:t/年)



注)右上のフローには、令和4年度の実績値を記載してください。下表の中左列には、令和4年度目標値を記載してください。下表の右列は、右上フローに記載された令和4年度実績値が自動的に計算されます。

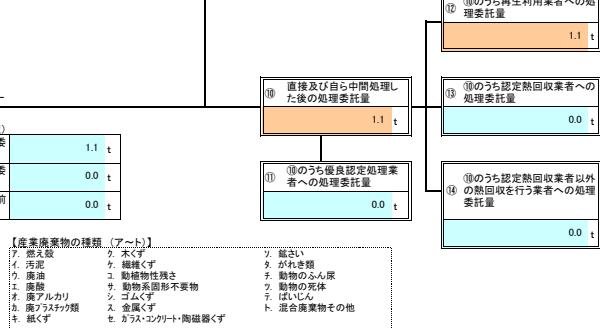
項目	令和4年度 目標値	令和4年度 実績値
① 排出量	20.0 t	1.1 t
②+⑧: 自ら再生利用を行った量	0.0 t	0.0 t
⑤: 自ら熱回収を行った量	0.0 t	0.0 t
⑦: 自ら中間処理により減量した量	0.0 t	0.0 t
⑨+⑩: 自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.0 t	0.0 t
⑩: 全処理委託量	20.0 t	1.1 t
⑪: 他の事業者への処理委託量	0.0 t	0.0 t
⑫: 再生利用業者への処理委託量	20.0 t	1.1 t
⑬: 認定熱回収業者への処理委託量	0.0 t	0.0 t
⑭: 認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0 t	0.0 t



(部)

事業場名称 : 株式会社大林組 東京本店

3-2 法定 ○ 自主



【産業廃棄物の種類（アート）】

- ア. 燃え残り ジ. 木くず
- イ. 汚泥 ケ. 紙類くず
- ウ. 廃油 シ. 動植物性残さ
- エ. 廃油 サ. 動植物衣類形不器物
- オ. 廃アルカリ ソ. 塗料・接着剤
- カ. 廃プラスチック類 シ. 食品容器
- キ. 紙くず ソ. はいしん
- セ. 金属くず シ. 混合廃棄物その他
- セ. 紙くず タ. 錆
- セ. 紙くず キ. がれき類
- セ. 紙くず チ. 動物のふん尿
- セ. 紙くず リ. 動植物衣類
- セ. 紙くず テ. はいしん
- セ. 紙くず ハ. 混合廃棄物その他

産業廃棄物処理計画実施状況報告書

3-2 法定 ○ 自主

別紙処理フロー

令和4年度に発生した産業廃棄物ごとの量と処理計画の実施結果

フローに記載した産業廃棄物の種類	キ、紙くず
※ 本用紙は廃棄物の種類ごとに1枚の記載となります。異なる廃棄物の処理フローは別シートにて記載してください。	

(単位:t/年)



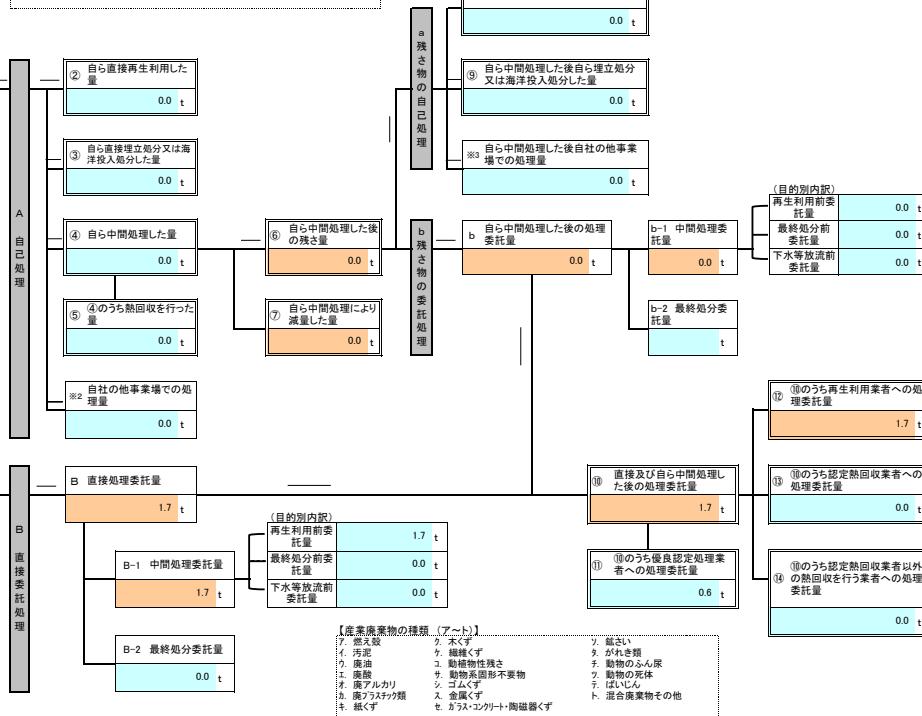
注)右上のフローには、令和4年度の実績値を記載してください。下表の中先列には、令和4年度目標値を記載してください。下表の右列は、右上フローに記載された令和4年度実績値が自動的に計算されます。

項目	令和4年度 目標値	令和4年度 実績値
① 排出量	10.0 t	1.7 t
②+⑧ 自然再生利用を行った量	0.0 t	0.0 t
⑤ 自然熱回収を行った量	0.0 t	0.0 t
⑦ 自然中間処理により減量した量	0.0 t	0.0 t
③+⑨ 自然埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.0 t	0.0 t
⑩ 全処理委託量	10.0 t	1.7 t
⑪ 便員認定処理業者への処理委託量	0.0 t	0.6 t
⑫ 再生利用業者への処理委託量	10.0 t	1.7 t
⑬ 認定熱回収業者への処理委託量	0.0 t	0.0 t
⑭ 認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0 t	0.0 t

「紙くず」には業種指定があり、該当業種以外では一般廃棄物となり、報告対象外です。
【該当業種】：資源循環業者（資源回収品の販売、新規合資会社の運営を行っている者、出荷業者（印刷出版を行うもの）、製本業、印刷物加工業、建設業（工作物の新築、改修、除去に伴って生じたもの）

事業場名称：株式会社大林組 東京本店

(注記)



産業廃棄物処理計画実施状況報告書

3-2 法定 ○ 自主

別紙処理フロー

令和4年度に発生した産業廃棄物ごとの量と処理計画の実施結果

フローに記載した産業廃棄物
の種類 ク.木くず

* 本用紙は廃棄物の種類ごとに1枚の記載となります。異なる廃棄物の処理フローは別シートに記載してください。

(単位:t/年)

有価物量

不要物発生量

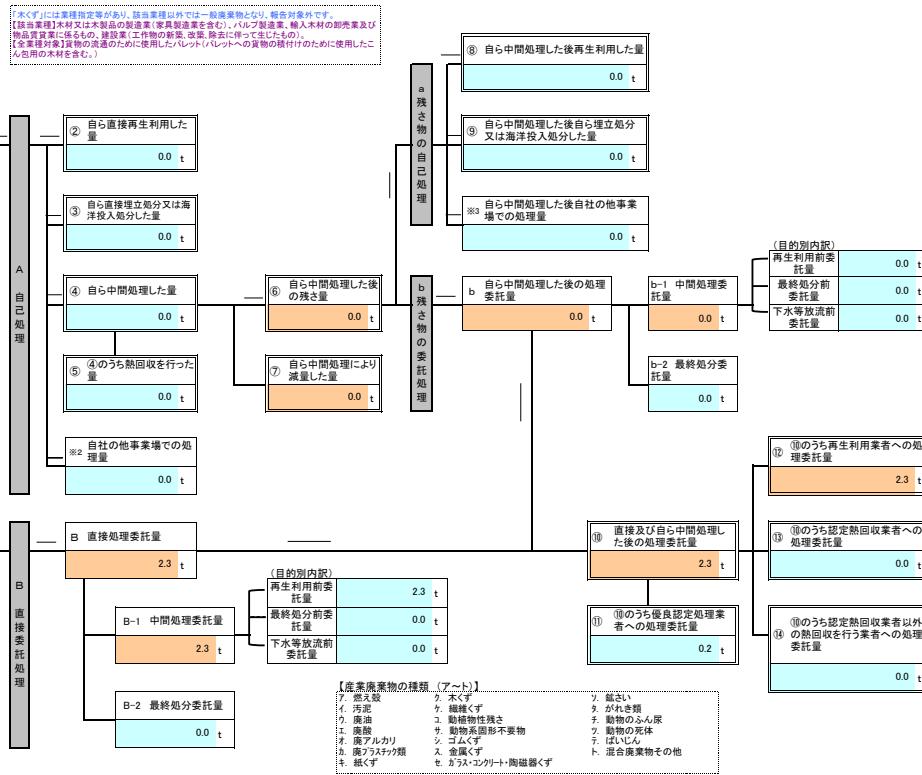
① 当該事業場における排出量
2.3 t※1 自社の他事業場からの搬入量
0.0 t

【大字】には事業場子会社があり、担当責任者以外では一般産業物となり、報告を要しない。
【該当業種】木材又は木製品の製造業(家具製造業を含む)、パルプ製造業、輸入・木材の卸売業及び
【品目種別】貨物の流通のために使用したパレット(パレットへの貨物の積付けのために使用したこ
とん色用の木材を含む)。

【全業種対象】貨物の流通のために使用したパレット(パレットへの貨物の積付けのために使用したこ
とん色用の木材を含む)。

注)右上のフローには、令和4年度の実績値を記載してください。下表の中
央列には、令和4年度目標値を記載してください。下表の右列は、右上フ
ローに記載された令和4年度実績値が自動的に計算されます。

項目	令和4年度 目標値	令和4年度 実績値
① 排出量	50.0 t	2.3 t
②+⑧:自ら再生利用を行った量	0.0 t	0.0 t
⑤:自ら熱回収を行った量	0.0 t	0.0 t
⑦:自ら中間処理により減量した量	0.0 t	0.0 t
⑨+⑩:自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.0 t	0.0 t
⑩:全処理委託量	50.0 t	2.3 t
⑪:優良認定処理業者への処理委託量	20.0 t	0.2 t
⑫:再生利用業者への処理委託量	50.0 t	2.3 t
⑬:認定熱回収業者への処理委託量	0.0 t	0.0 t
⑭:認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0 t	0.0 t



(部)

産業廃棄物処理計画実施状況報告書

3-2 法定 ○ 自主

別紙処理フロー

令和4年度に発生した産業廃棄物ごとの量と処理計画の実施結果

フローに記載した産業廃棄物 の種類	ケ. 繊維くず
※ 本用紙は廃棄物の種類ごとに1枚の記載となります。異なる廃棄物の処理フローは別シートに記載してください。	

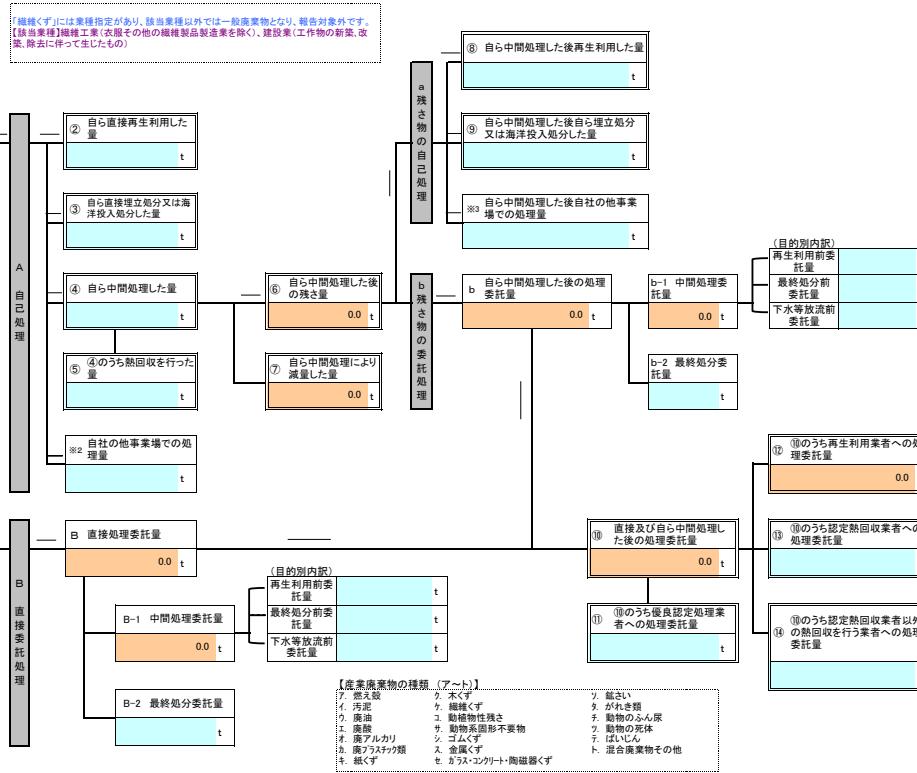
(単位:t/年)



「繊維くず」には業種指定があり、該当業種以外では一般廃棄物となり、報告対象外です。
【該当業種】織維工業(衣服その他の織維製品製造業を除く)、建設業(工作物の新築、改築、除去に伴って生じたもの)

注)右上のフローには、令和4年度の実績値を記載してください。下表の中矢列には、令和4年度目標値を記載してください。下表の右列は、右上フローに記載された令和4年度実績値が自動的に計算されます。

項目	令和4年度 目標値	令和4年度 実績値
① 排出量	0.0 t	0.0 t
②+⑧ 自ら再生利用を行った量	0.0 t	0.0 t
⑤ 自ら熱回収を行った量	0.0 t	0.0 t
⑦ 自ら中間処理により減量した量	0.0 t	0.0 t
③+⑨ 自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.0 t	0.0 t
⑩ 全処理委託量	0.0 t	0.0 t
⑪ 俊食認定処理業者への処理委託量	0.0 t	0.0 t
⑫ 再生利用業者への処理委託量	0.0 t	0.0 t
⑬ 認定熱回収業者への処理委託量	0.0 t	0.0 t
⑭ 認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0 t	0.0 t



事業場名称 : 株式会社大林組 東京本店

(部) (2)

【産業廃棄物の種類(アート)】
 チ. 燃え殻 ク. 木くず
 イ. 汚泥 ケ. 繊維くず
 ウ. 廃油 シ. 動植物性残さ
 エ. 廃液 サ. 動植物表面形不整物
 オ. 廃アルカリ ジ. 塗装漆膜
 カ. 廃プラスチック類 ク. 金属くず
 キ. 紙くず セ. ガラス・コンクリート・陶磁器くず
 ゼ. 錆さい
 タ. がれき類
 チ. 動物のふん尿
 リ. 動植物全体
 フ. はいしん
 ド. 混合廃棄物その他

産業廃棄物処理計画実施状況報告書

3-2 法定 ○ 自主

別紙処理フロー

令和4年度に発生した産業廃棄物ごとの量と処理計画の実施結果

フローに記載した産業廃棄物の種類	コ. 動植物性残さ
※ 本用紙は廃棄物の種類ごとに1枚の記載となります。異なる廃棄物の処理フローは別シートに記載してください。	

(単位:t/年)

有価物量

不要物発生量

① 当該事業場における排出量

0.0 t

※1 自社の他事業場からの搬入量

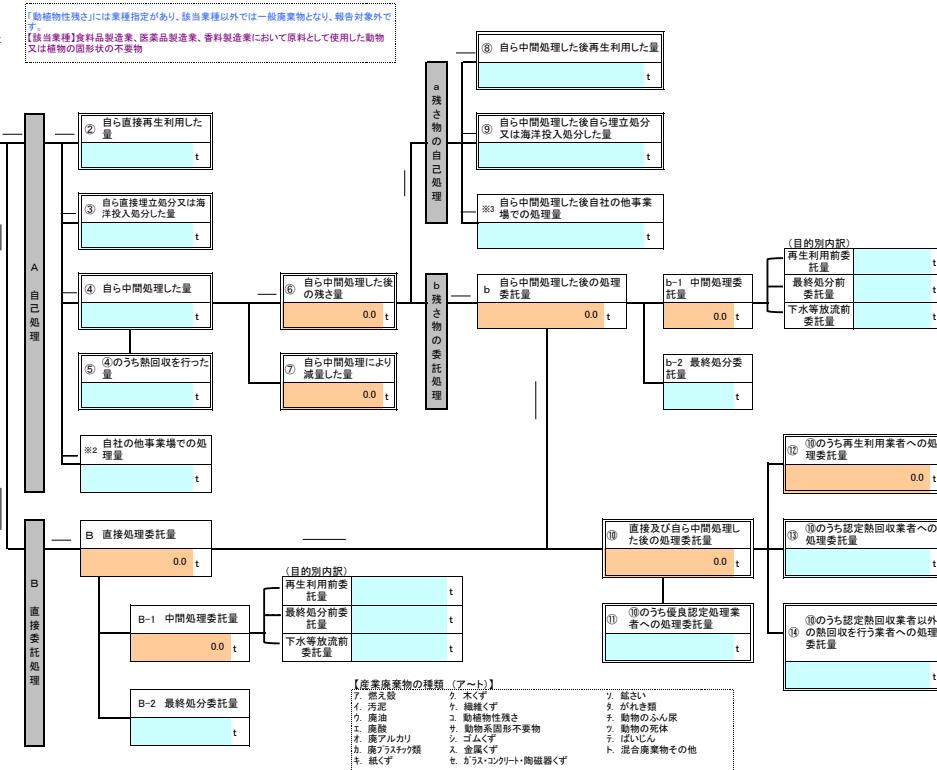
t

「動植物性残さ」には業種指定があり、該当業種以外では一般廃棄物となり、報告対象外です。
【特当業種】金属品製造業、医薬品製造業、香料製造業において原料として使用した動物又は植物の固形状の不要性

事業場名称 : 株式会社大林組 東京本店

注)右上のフローには、令和4年度の実績値を記載してください。下表の中矢列には、令和4年度目標値を記載してください。下表の右列は、右上フローに記載された令和4年度実績値が自動的に計算されます。

項目	令和4年度 目標値	令和4年度 実績値
① 排出量	0.0 t	0.0 t
②+⑧: 自ら再生利用を行った量	0.0 t	0.0 t
⑤: 自ら熱回収を行った量	0.0 t	0.0 t
⑦: 自ら中間処理により減量した量	0.0 t	0.0 t
③+⑨: 自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.0 t	0.0 t
⑩: 全処理委託量	0.0 t	0.0 t
⑪: 便員認定処理業者への処理委託量	0.0 t	0.0 t
⑫: 再生利用業者への処理委託量	0.0 t	0.0 t
⑬: 認定熱回収業者への処理委託量	0.0 t	0.0 t
⑭: 認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0 t	0.0 t



(部)第2

産業廃棄物処理計画実施状況報告書

3-2 法定 ○ 自主

別紙処理フロー

令和4年度に発生した産業廃棄物ごとの量と処理計画の実施結果

フローに記載した産業廃棄物
の種類 サ. 動物系固形不要物
※ 本用紙は廃棄物の種類ごとに1枚の記載となります。異なる廃棄物の処理フローは別シートに記載してください。

(単位:t/年)

有価物量

不要物発生量

① 当該事業場における
排出量

0.0 t

※1 自社の他事業場から
の搬入量

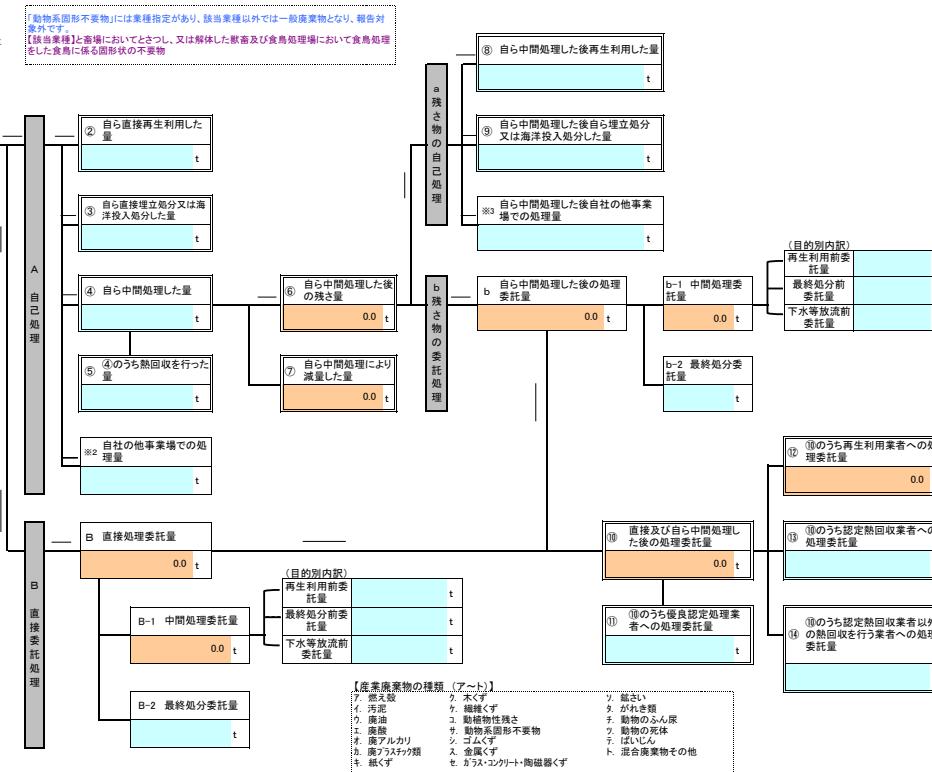
t

「動物系固形不要物」には種類指定があり、該当業種以外では一般廃棄物となり、報告対象外となります。
【株式会社】と【店舗】においてときつい、又は解体した駒番及び食鳥処理場において食鳥処理をした食鳥に係る固形状の不要物。

事業場名称 : 株式会社大林組 東京本店

注)右上のフローには、令和4年度の実績値を記載してください。下表の中矢列には、令和4年度目標値を記載してください。下表の右列は、右上フローに記載された令和4年度実績値が自動的に計算されます。

項目	令和4年度 目標値	令和4年度 実績値
① 排出量	0.0 t	0.0 t
②+⑧ 自然再生利用を行った量	0.0 t	0.0 t
⑤ 自然熱回収を行った量	0.0 t	0.0 t
⑦ 自然中間処理により減量した量	0.0 t	0.0 t
③+⑨ 自然埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.0 t	0.0 t
⑩ 全処理委託量	0.0 t	0.0 t
⑪ 俊食認定処理業者への処理委託量	0.0 t	0.0 t
⑫ 再生利用業者への処理委託量	0.0 t	0.0 t
⑬ 認定熱回収業者への処理委託量	0.0 t	0.0 t
⑭ 認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0 t	0.0 t

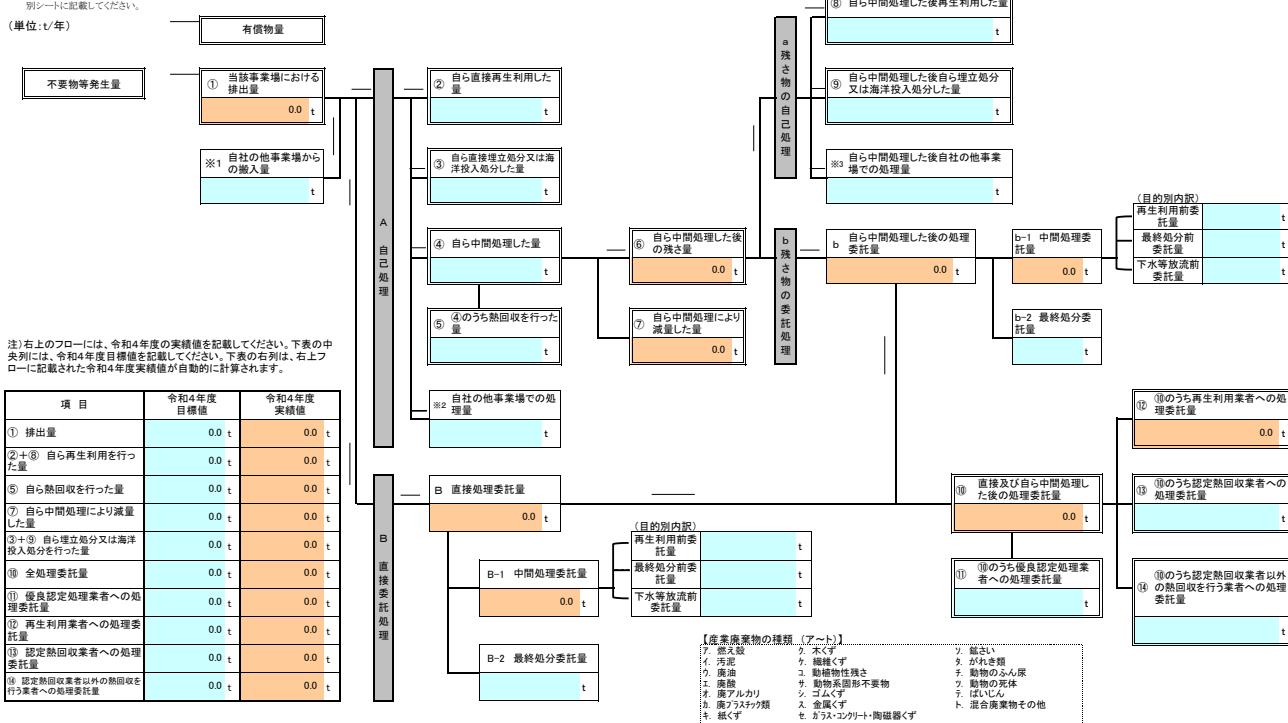


別紙処理フロー

令和4年度に発生した産業廃棄物ごとの量と処理計画の実施結果

フローに記載した産業廃棄物
の種類
※ 本用紙は廃棄物の種類ごとに1枚の記載となります。異なる廃棄物の処理フローは別シートに記載してください。

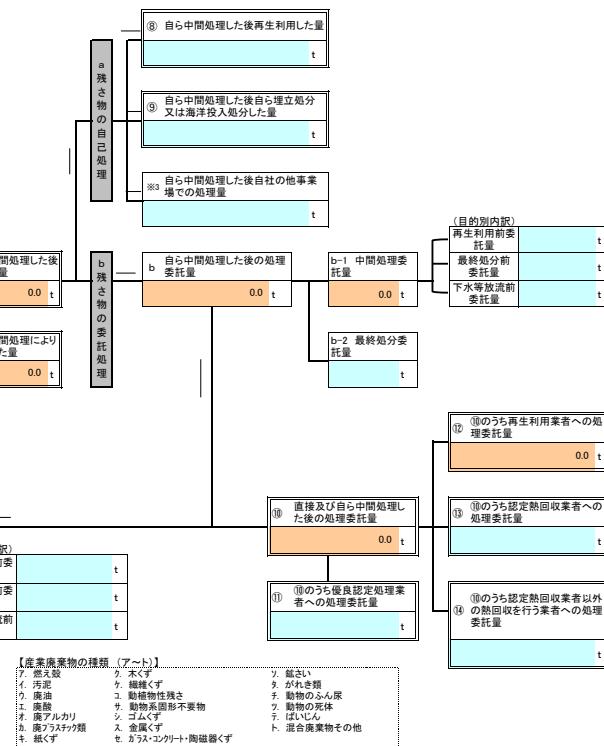
(単位:t/年)



注)右上のフローには、令和4年度の実績値を記載してください。下表の中矢列には、令和4年度目標値を記載してください。下表の右列は、右上フローに記載された令和4年度実績値が自動的に計算されます。

事業場名称 : 株式会社大林組 東京本店

(部)



別紙処理フロー

令和4年度に発生した産業廃棄物ごとの量と処理計画の実施結果

フローに記載した産業廃棄物の種類ごとに1枚の記載となります。異なる廃棄物の処理フローは別シートに記載してください。

(単位:t/年)

有価物量

不要物発生量

ス、金属くず

※ 本用紙は廃棄物の種類ごとに1枚の記載となります。異なる廃棄物の処理フローは別シートに記載してください。

(単位:t/年)

当該事業場における排出量

0.1 t

※1 自社の他事業場からの搬入量

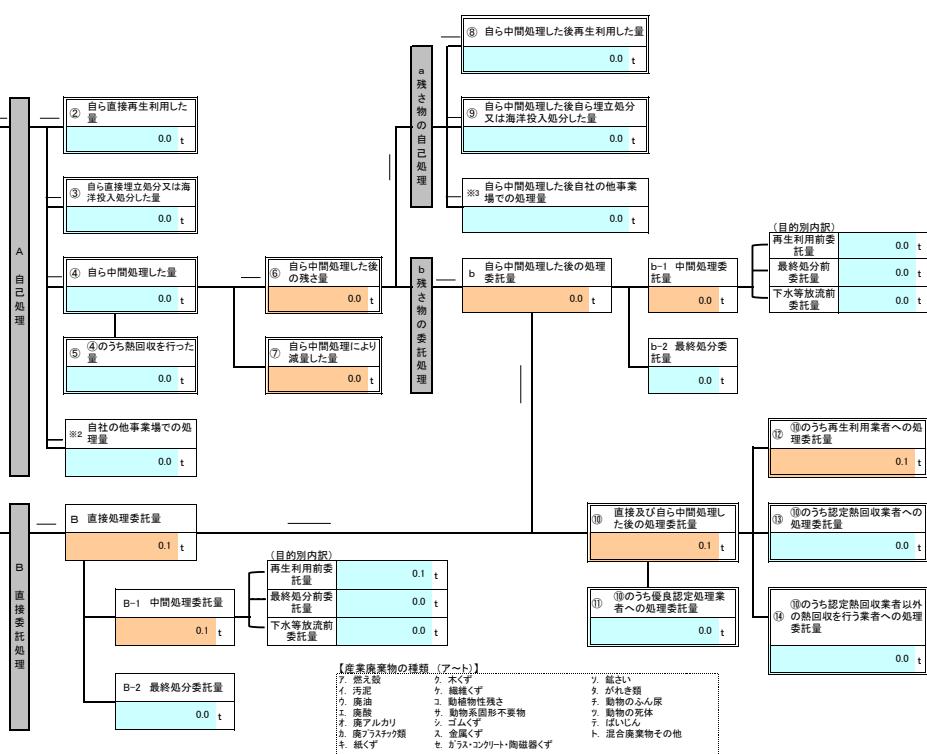
0.0 t

注)右上のフローには、令和4年度の実績値を記載してください。下表の中央列には、令和4年度目標値を記載してください。下表の右列は、右上フローに記載された令和4年度実績値が自動的に計算されます。

項目	令和4年度 目標値	令和4年度 実績値
① 排出量	0.0 t	0.1 t
②+⑧:自ら再生利用を行った量	0.0 t	0.0 t
⑤:自ら熱回収を行った量	0.0 t	0.0 t
⑦:自ら中間処理により減量した量	0.0 t	0.0 t
⑨+⑩:自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.0 t	0.0 t
⑩:全処理委託量	0.0 t	0.1 t
⑪:優良認定処理業者への処理委託量	0.0 t	0.0 t
⑫:再生利用業者への処理委託量	0.0 t	0.1 t
⑬:認定熱回収業者への処理委託量	0.0 t	0.0 t
⑭:認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0 t	0.0 t

事業場名称 : 株式会社大林組 東京本店

(部)



産業廃棄物処理計画実施状況報告書

3-2 法定 ○ 自主

別紙処理フロー

令和4年度に発生した産業廃棄物ごとの量と処理計画の実施結果

フローに記載した産業廃棄物の種類ごとに1枚の記載となります。異なる廃棄物の処理フローは

※ 本用紙は廃棄物の種類ごとに1枚の記載となります。異なる廃棄物の処理フローは別シートに記載してください。

(単位:t/年)

有価物量

不要物発生量

セ. ガラス・コンクリート・陶磁器くず

※ 本用紙は廃棄物の種類ごとに1枚の記載となります。異なる廃棄物の処理フローは

別シートに記載してください。

1.8 t

0.0 t

※1. 自社の他事業場からの搬入量

0.0 t

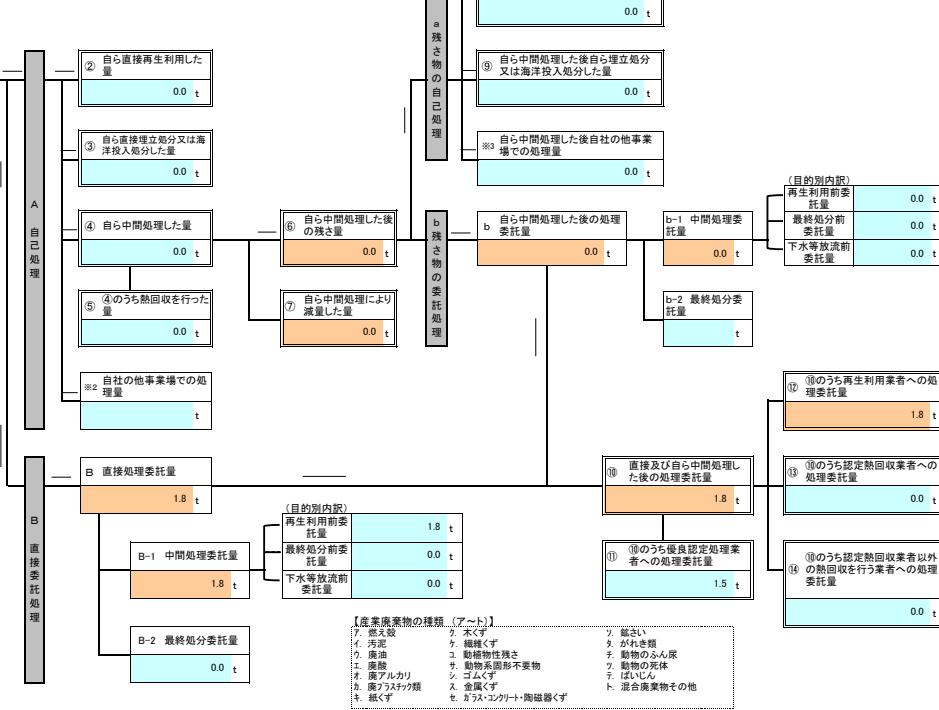


事業場名称 : 株式会社大林組 東京本店

(部)

注)右上のフローには、令和4年度の実績値を記載してください。下表の中矢列には、令和4年度目標値を記載してください。下表の右列は、右上フローに記載された令和4年度実績値が自動的に計算されます。

項目	令和4年度 目標値	令和4年度 実績値
① 排出量	90.0 t	1.8 t
②+⑧. 自ら再生利用を行った量	0.0 t	0.0 t
⑤. 自ら熱回収を行った量	0.0 t	0.0 t
⑦. 自ら中間処理により減量した量	0.0 t	0.0 t
③+⑨. 自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.0 t	0.0 t
⑩. 全処理委託量	90.0 t	1.8 t
⑪. 他のうら認定処理業者への処理委託量	10.0 t	1.5 t
⑫. 再生利用業者への処理委託量	90.0 t	1.8 t
⑬. 認定熱回収業者への処理委託量	0.0 t	0.0 t
⑭. 認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0 t	0.0 t

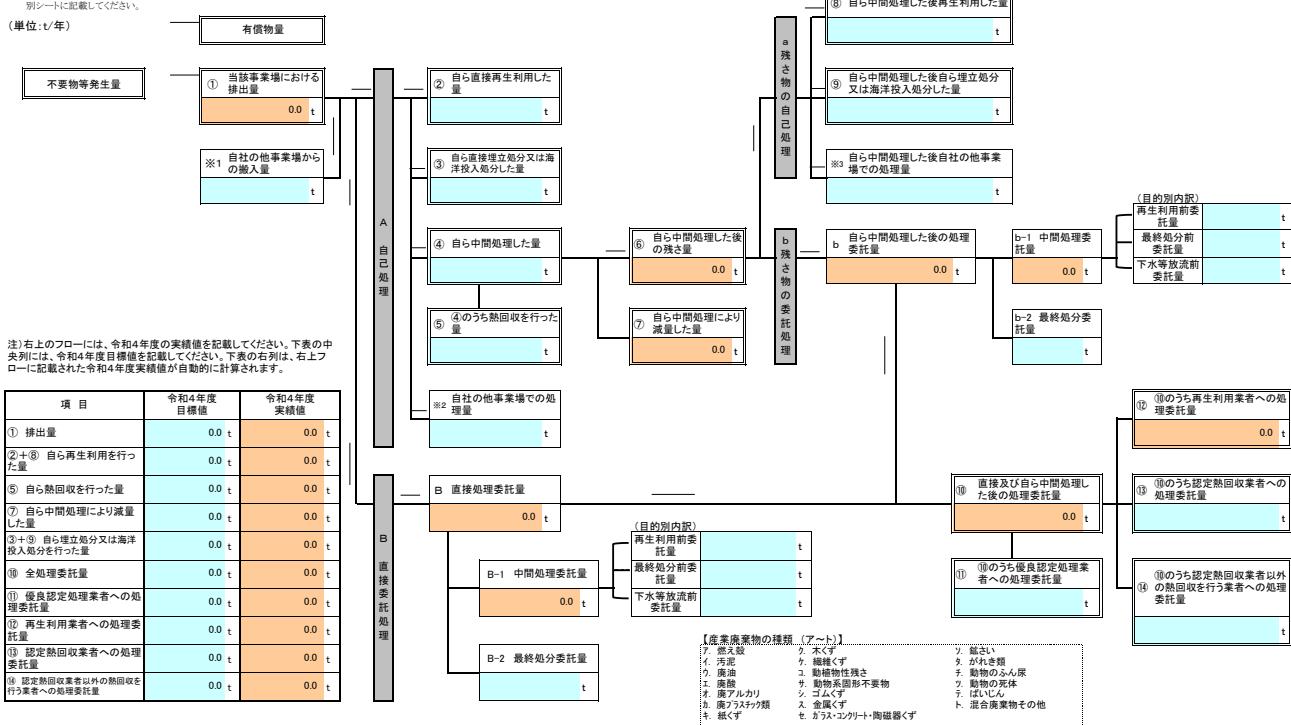


別紙処理フロー

令和4年度に発生した産業廃棄物ごとの量と処理計画の実施結果

フローに記載した産業廃棄物の種類ごとに1枚の記載となります。異なる廃棄物の処理フローは別シートに記載してください。

(単位:t/年)



産業廃棄物処理計画実施状況報告書

3-2 法定 ○ 自主

別紙処理フロー

事業場名称 : 株式会社大林組 東京本店

フローに記載した産業廃棄物ごとの量と処理計画の実施結果

フローに記載した産業廃棄物の種類ごとに1枚の記載とあります。異なる廃棄物の処理フローは別シートに記載してください。

(単位:t/年)

有価物量

不要物発生量

タ. がれき類

* 本用紙は廃棄物の種類ごとに1枚の記載とあります。異なる廃棄物の処理フローは別シートに記載してください。

※ 本用紙は廃棄物の種類ごとに1枚の記載とあります。異なる廃棄物の処理フローは別シートに記載してください。

(単位:t/年)

当該事業場における排出量

672.3 t

※1 自社の他事業場からの搬入量

0.0 t

A 自己処理

② 自ら直接再生利用した量

0.0 t

③ 自ら直接埋立処分又は海洋投入処分した量

0.0 t

④ 自ら中間処理した量

0.0 t

⑤ のうち熱回収を行った量

0.0 t

※2 自社の他事業場での処理量

0.0 t

⑥ 自ら中間処理した後の残さ量

0.0 t

⑦ 自ら中間処理により減量した量

0.0 t

※3 自ら中間処理した後自社の他事業場での処理量

0.0 t

自ら直接再生利用した量

0.0 t

自ら直接埋立処分又は海洋投入処分した量

0.0 t

自ら中間処理した量

0.0 t

のうち熱回収を行った量

0.0 t

自ら中間処理により減量した量

0.0 t

自ら直接埋立処分又は海洋投入処分した量

0.0 t

自ら直接再生利用した量

0.0 t

自ら直接埋立処分又は海洋投入処分した量

0.0 t

⑧ 自ら中間処理した後再生利用した量
0.0 t

⑨ 又は自ら中間処理した後自ら埋立処分又は海洋投入処分した量
0.0 t

※3 自ら中間処理した後自社の他事業場での処理量
0.0 t

(目的別内訳)
再生利用前委託量 0.0 t
最終処分前委託量 0.0 t
下水等放流前委託量 0.0 t

b-1 中間処理委託量 0.0 t
b-2 最終処分委託量 0.0 t

⑩ 信のうち再生利用業者への処理委託量
672.3 t

⑪ 信のうち認定熱回収業者への処理委託量
0.0 t

⑫ 信のうち認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量
0.0 t

【産業廃棄物の種類(アート)】
ア. 燃え残り ク. 木くず
イ. 汚泥 キ. 細繊くず
ウ. 廃油 ク. 動植物性残さ
エ. 廃液 キ. 動植物表面形不整物
オ. 廃アルカリ ク. 塗装スリップ等
カ. 廃プラスチック類 キ. 金属くず
キ. 紙くず ク. はいしん
セ. ハラス・コンクリート・陶磁器くず キ. 混合廃棄物その他

① 排出量 2,000.0 t 672.3 t

②+⑧: 自然再生利用を行った量 0.0 t 0.0 t

⑤: 自然熱回収を行った量 0.0 t 0.0 t

⑦: 自然中間処理により減量した量 0.0 t 0.0 t

⑨+⑩: 自然埋立処分又は海洋投入処分を行った量 0.0 t 0.0 t

⑩: 全処理委託量 2,000.0 t 672.3 t

⑪: 俊食認定処理業者への処理委託量 90.0 t 0.0 t

⑫: 再生利用業者への処理委託量 2,000.0 t 672.3 t

⑬: 認定熱回収業者への処理委託量 0.0 t 0.0 t

⑭: 認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量 0.0 t 0.0 t

(注) (部)

産業廃棄物処理計画実施状況報告書

3-2 法定 ○ 自主

別紙処理フロー

令和4年度に発生した産業廃棄物ごとの量と処理計画の実施結果

フローに記載した産業廃棄物
の種類
※ 本用紙は廃棄物の種類ごとに1枚の記載となります。異なる廃棄物の処理フローは別シートに記載してください。

(単位:t/年)

有価物量

不要物発生量

① 当該事業場における
排出量
t

② 自ら直接再生利用した
量
t

③ 自ら直接埋立処分又は海
洋投入処分した量
t

④ 自ら中間処理した量
t

⑤ ④のうち熱回収を行った
量
t

⑥ 自ら中間処理した後
の残さ量
t

⑦ 自ら中間処理により
減量した量
t

※1 自社の他事業場から
の搬入量
t

※2 自社の他事業場での処
理量
t

※3 自ら中間処理した後
の処理量
t

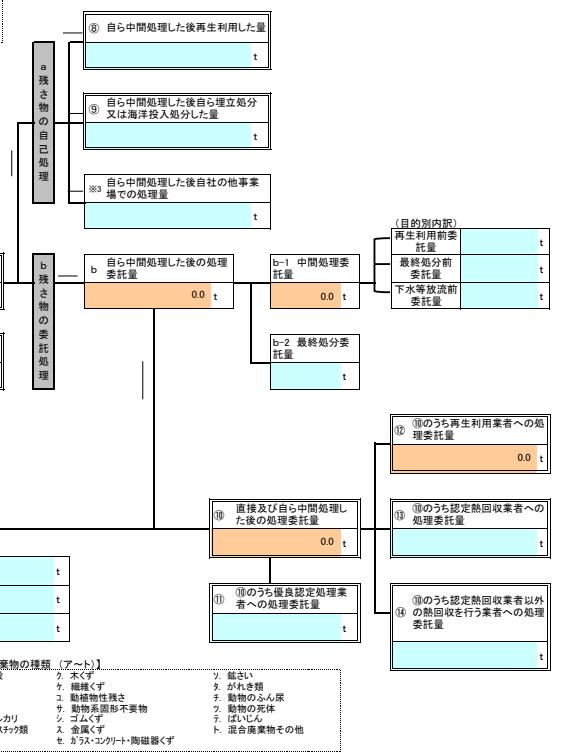
注)右上のフローには、令和4年度の実績値を記載してください。下表の中
央列には、令和4年度目標値を記載してください。下表の右列は、右上フ
ローに記載された令和4年度実績値が自動的に計算されます。

項目	令和4年度 目標値	令和4年度 実績値
① 排出量	0.0 t	0.0 t
②+⑧ 自ら再生利用を行つ た量	0.0 t	0.0 t
⑤ 自ら熱回収を行った量	0.0 t	0.0 t
⑦ 自ら中間処理により減量 した量	0.0 t	0.0 t
⑨+⑩ 自ら埋立処分又は海洋 投入処分を行った量	0.0 t	0.0 t
⑩ 全処理委託量	0.0 t	0.0 t
⑪ 俊食認定処理業者への処 理委託量	0.0 t	0.0 t
⑫ 再生利用業者への処理委 託量	0.0 t	0.0 t
⑬ 認定熱回収業者への処理 委託量	0.0 t	0.0 t
⑭ 認定熱回収業者以外の熱回 收回取業者への処理委託量	0.0 t	0.0 t

「動物のふん尿」には業種指定があり、該当業種以外では一般廃棄物となり、報告対象外です。
【該当業種】畜産農業

事業場名称 : 株式会社大林組 東京本店

(部第)



【産業廃棄物の種類（アート）】

- ア. 燃え殻 ク. 木くず シ. 錆さし
- イ. 汚泥 ク. 細維くず タ. がれき類
- ウ. 廃油 ク. 動植物性残さ チ. 動物のふん尿
- エ. 廃液 ク. 動植物界面形不溶物 ツ. 動植物性液体
- オ. 割アルカリ ク. 金属くず テ. ばいじん類
- カ. 廃プラスチック類 ク. 金属くず テ. 混合廃棄物その他
- キ. 紙くず セ. がラス・コンクリート・陶磁器くず

産業廃棄物処理計画実施状況報告書

別紙処理フロー

令和4年度に発生した産業廃棄物ごとの量と処理計画の実施結果

フローに記載した産業廃棄物
の種類 ツ. 動物の死体
※ 本用紙は廃棄物の種類ごとに1枚の記載となります。異なる廃棄物の処理フローは
別シートに記載してください。

(単位:t/年)

有価物量

不要物発生量

① 当該事業場における
排出量
t
※1 自社の他事業場から
の搬入量
t

「動物の死体」には種類指定があり、該当種類以外では一般廃棄物となり、報告対象外で
す。

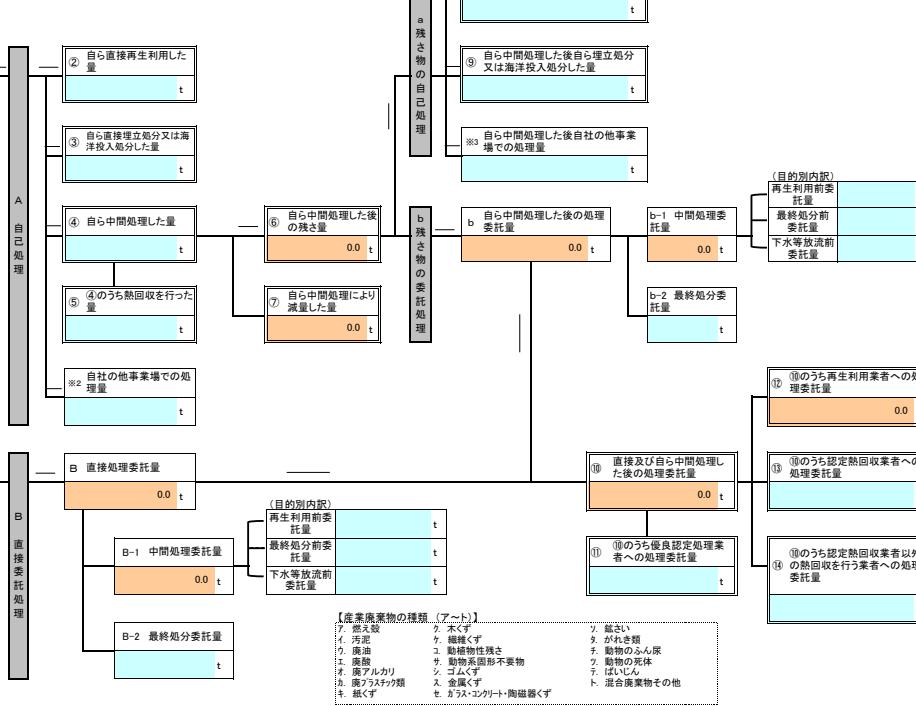
【該当業種】畜産農業

注)右上のフローには、令和4年度の実績値を記載してください。下表の中
央列には、令和4年度目標値を記載してください。下表の右列は、右上フ
ローに記載された令和4年度実績値が自動的に計算されます。

項目	令和4年度 目標値	令和4年度 実績値
① 排出量	0.0 t	0.0 t
②+⑧: 自ら再生利用を行つ た量	0.0 t	0.0 t
⑤: 自ら熱回収を行つた量	0.0 t	0.0 t
⑦: 自ら中間処理により減量 した量	0.0 t	0.0 t
③+⑨: 自ら埋立処分又は海洋 投入処分を行つた量	0.0 t	0.0 t
⑩: 全処理委託量	0.0 t	0.0 t
⑪: 俊食認定処理業者への処 理委託量	0.0 t	0.0 t
⑫: 再生利用業者への処理委 託量	0.0 t	0.0 t
⑬: 認定熱回収業者への処理 委託量	0.0 t	0.0 t
⑭: 認定熱回収業者以外の熱回 收回業者への処理委託量	0.0 t	0.0 t

事業場名称 : 株式会社大林組 東京本店

3-2 法定 ○ 自主



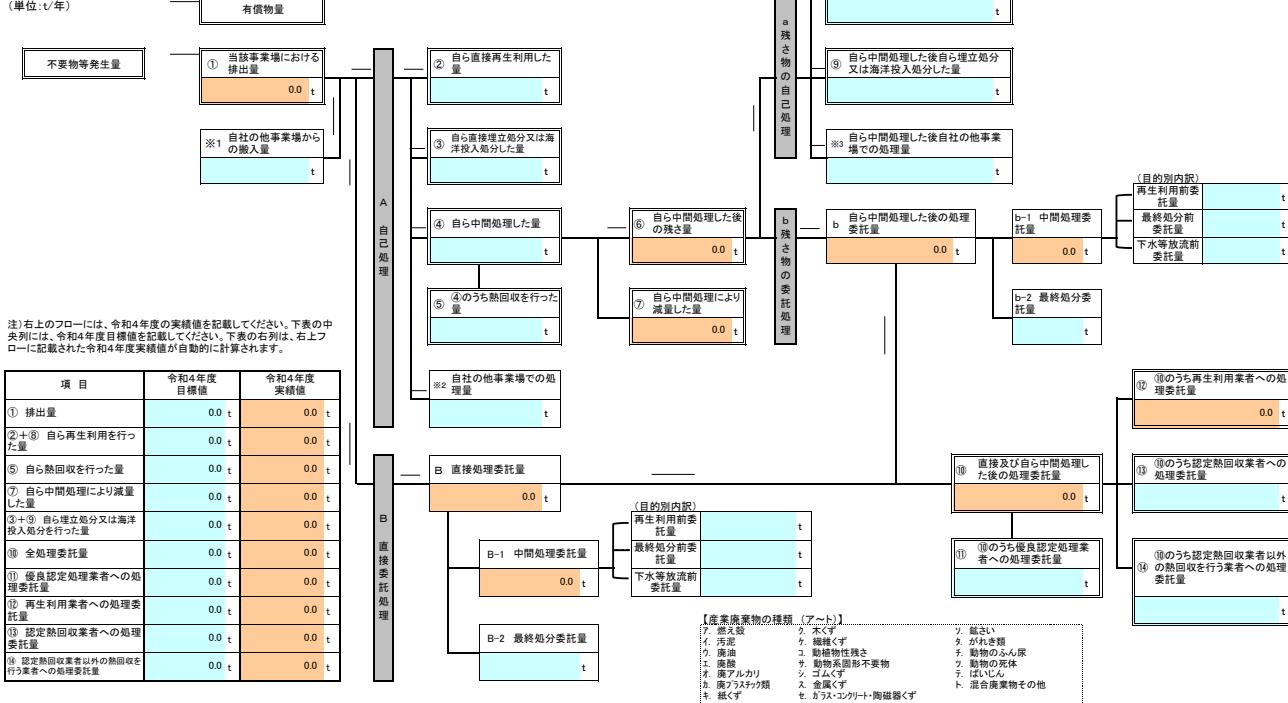
別紙処理フロー

事業場名称：株式会社大林組 東京本店

フローに記載した産業廃棄物ごとの量と処理計画の実施結果
の種類

※ 本用紙は廃棄物の種類ごとに1枚の記載となります。異なる廃棄物の処理フローは別シートに記載してください。

(単位:t/年)



注)右上のフローには、令和4年度の実績値を記載してください。下表の中矢列には、令和4年度目標値を記載してください。下表の右列は、右上フローに記載された令和4年度実績値が自動的に計算されます。

産業廃棄物処理計画実施状況報告書

3-2 法定 ○ 自主

別紙処理フロー

事業場名稱： 株式会社大林組 東京本店

フローに記載した産業廃棄物ごとの量と処理計画の実施結果

フローの種類 ト、混合廃棄物その他

※ 本用紙は廃棄物の種類ごとに1枚の記載となります。異なる廃棄物の処理フローは別シートに記載してください。

(単位:t/年)

有価物量

不要物発生量

① 当該事業場における排出量

15.6 t

※1 自社の他事業場からの搬入量

0.0 t

② 自ら直接再生利用した量

0.0 t

③ 自ら直接埋立処分又は海洋投入処分した量

0.0 t

④ 自ら中間処理した量

0.0 t

⑤ ④のうち熱回収を行った量

0.0 t

※2 自社の他事業場での処理量

0.0 t

⑥ 自ら中間処理した後の残さ量

0.0 t

⑦ 自ら中間処理により減量した量

0.0 t

※3 自ら中間処理した後自社の他事業場での処理量

0.0 t

⑧ 自ら中間処理した後再生利用した量

0.0 t

⑨ 自ら中間処理した後自ら埋立処分又は海洋投入処分した量

0.0 t

⑩ 全処理委託量

140.0 t

⑪ ⑩のうち認定処理業者への処理委託量

90.0 t

⑫ 再生利用業者への処理委託量

140.0 t

⑬ 認定熱回収業者への処理委託量

0.0 t

⑭ 認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量

0.0 t

a 残さ物の自己処理

⑩のうち再生利用業者への処理委託量

0.0 t

⑪ のうち認定処理業者への処理委託量

0.0 t

⑫ のうち再生利用業者への処理委託量

0.0 t

⑬ のうち認定熱回収業者への処理委託量

0.0 t

⑭ のうち認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量

0.0 t

b 残さ物の委託処理

⑩のうち再生利用業者への処理委託量

0.0 t

⑪ のうち認定処理業者への処理委託量

0.0 t

⑫ のうち再生利用業者への処理委託量

0.0 t

⑬ のうち認定熱回収業者への処理委託量

0.0 t

⑭ のうち認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量

0.0 t

注)右上のフローには、令和4年度の実績値を記載してください。下表の中矢列には、令和4年度目標値を記載してください。下表の右列は、右上フローに記載された令和4年度実績値が自動的に計算されます。

項目	令和4年度目標値	令和4年度実績値
① 排出量	140.0 t	15.6 t
②+⑧: 自ら再生利用を行った量	0.0 t	0.0 t
⑤: 自ら熱回収を行った量	0.0 t	0.0 t
⑦: 自ら中間処理により減量した量	0.0 t	0.0 t
⑨+⑩: 自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.0 t	0.0 t
⑩: 全処理委託量	140.0 t	15.6 t
⑪: ⑩のうち認定処理業者への処理委託量	90.0 t	9.3 t
⑫: 再生利用業者への処理委託量	140.0 t	15.6 t
⑬: 認定熱回収業者への処理委託量	0.0 t	0.0 t
⑭: 認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0 t	0.0 t

(部)

【産業廃棄物の種類(アート)】

ア.燃え物 ク.木くず シ.繊維くず タ.がれき類

イ.汚泥 ウ.廃油 エ.動植物性残さ チ.動物のふん尿

ウ.廃油 エ.廃油 オ.動物糞便形不溶物 ツ.粉体

エ.廃アルカリ オ.廃アルカリ シ.粉体 テ.ばいじん

カ.廃アルカリ オ.廃アルカリ ジ.金属くず ハ.金属くず

キ.紙くず セ.ガラス・コンクリート・陶磁器くず

